



ロータリー:
変化をもたらす

Rotary Making A Difference
RI会長 RI ライズリー

ま
る
が
め

週報

会 員 数 57 名
欠 席 者

訪 問 者
前々回出席率

出席者42名・欠席者14名・免除会員2名

麻田・石合・和泉享・眞鍋・松山・森・中野和・菅・中野昌・野口
武中・竹内・谷本・山内光

87.27%(10/19)

2017.11.2

Vol.55

No17

(2681)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 夏見 良宏
幹 事 和泉 清憲
会報委員長 塩田 等

お知らせ

- 11月のプログラム
 - 2 (No.1)-クラブフォーラム
 - 9 (No.2)-会員卓話
 - 16 (No.3)-客話
 - 23 (No.4)-休会
 - 30 (No.5)-地区大会報告

- 他RC例会変更
善通寺 11/8 職場例会

- ニコニコBOX;
祝誕生月
大西君 福田君 四宮君
祝結婚月
横田君 高岡君
四宮君 秋山恒嘉君
よいことがありました
秋山憲夫君 橘君
親睦バス旅行、台風の中
無事行ってきました
陶國君

11/3まごころリニューアルオープン
おめでとうございます。

吉田君
ロータリー財団の話をして
四宮君

<ニコニコ会計累積/¥195,000>

- がんばるBOX;

早退します

片岡君 池田君
天野君 高岡君

なんとなく

富田君

親睦家族旅行では大変お世話
になりました

夏見君

まごころ明日リニューアルオープン
します。おいでください。

福田君

結婚記念日、思い出しました

中川君

<がんばる会計累積/¥129,000>

Tel,0877-23-8300 Fax,0877-23-8321

■会長挨拶

「親睦家族旅行」

10月29日(日)台風22号が近づく中、総勢16名で親睦家族旅行
『“大阪”笑い歴史に触れる旅』に行ってきました。
美味しいランチとお笑いで大満足の旅でした。



よしもと新喜劇



グランフロント大阪9F コスモポリタン



■幹事報告

- ①地区大会の配車表を後日ご連絡します
- ②少女の家より運動会参加のお礼の手紙が届いております
- ③ガバナー月信の受賞者紹介のページに誤りがあります
- ④田中卓会員の追悼特別号の週報をお配りしました

■理事会報告

- ①新入会員の入会時期について
・11月9日より崎川会員 ・12月7日より岸上会員
- ②11-12例会プログラムについて
新入会員歓迎会については、プログラム委員会、親睦委員会と調整します
- ③未来への手紙 → 文面の見直しをしました
- ④55周年特別講演会の予算案について
- ⑤申し込みのあった一般社団法人の賛同団体としての名称使用について
単一の事業についてはその可否を検討するが、団体そのものに対して
は原則として行わない

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル

私がロータリー財団の委員長となって3年目となった。過去2回クラブフォーラムでお話させていただいたが、話の中身が薄いせいか週報の記事が短いことが気になっている。どうか広報委員会の方は今日の話をもう少し長く、せめて10行程度は掲載していただければと思う。



さて、ロータリー財団委員会としては4月に高知で開催された地区協議会で聞いた財団についてのお話をさせていただければと思う。余談であるが、高知へはメンバー4名で1台の車に乗り合わせて行ってきた。行きの車の中では同行のメンバーが「メロンの漬物」を買いたいという話をしきりにしていたのだが、少し早めに高知入り出来たので私は日曜市に行ってきた。陶器のお店でぐい呑を購入したのだが、これが上方落語の「はてな茶碗」のような話となって今回の高知行き忘れられない思い出となった。

本題の地区協議会での財団の話に戻るが、現在財団の活動の大きな部分を占めているのはポリオの撲滅である。2007年以降ゲイツ財団より多くの寄付を受け、その規模を飛躍的に拡大して取り組んでおり、大きな成果をあげているが、あと一歩のところまでポリオの撲滅には至っていない。大変難しい取り組みであると感じている。

それ以外にも財団の活動は様々であるが、2670地区においては74クラブ中55クラブが補助金の申請をしており、その内訳は47クラブがスポーツや植林に関する事業、8クラブは人道支援や教育に関する事業であった。これまで1回も補助の申請を行っていないクラブも5つあり、補助金の運用規定等のハードルの高さがネックになっているように感じている。

地区として現在力を入れているのはグローバル補助金事業で、当地区では徳島大学医学部よりドイツへの留学資金の補助としての実績がある。戦略的観点から大きな影響をもたらす地区やクラブの活動に使用できる補助金として設定されている。但し、ロータリー財団6重点分野に該当し、2カ国以上のクラブや地区が参加すること、活動資金が最低3万ドル以上のプロジェクトであることなど適用には厳しい条件の付くものとなっている。

最後に、財団への寄付について、勿論多くのご寄付をいただいてより活発な活動が出来ることが理想ではあるが、それは善意によるものであって決して強制されるべきものではないというのが私の考え方である。

さて、地区協議会の終了後、同行のメンバーも日曜市を訪れたようで、しきりにお話されていた「メロンの漬物」を無事購入できたようである。地区協議会においては参加できなかった委員長、副委員長も多かったようだが、様々な発見もあると思う。今月は高知で地区大会が開催されるので、皆さんもそのような機会があれば是非積極的に参加してみられることをお勧めしたい。